

関東ふれあいの道(栃木)⑰名刹と旧跡を訪ねるみち

2024年10月29日池内淑皓

今年の夏は暑かった。真夏日が29日あったと云うから驚き。9月に入って涼しくなるだろうと勝手に考えてウォークを企画した、しかし途中でダウンした。

今日のお目当ては、親鸞聖人ゆかりの寺と、二宮尊徳が荒廃した田畑を蘇らせたと云う、真岡市桜町陣屋の跡を訪ねる。暑さとの戦いになりそうだ。



関東ふれあいの道案内板は駅構内の外れにある、地図をスマホに撮影して歩こう



出発地の久下田駅からゴールの真岡駅まで、16.2km 5時間の道のり

点線は、あまりの暑さで途中リタイアして尊徳陣屋跡から寺内駅まで、ショートカットした



横浜方面から来れば、下館発 9 時 42 分が便利。国鉄時代そのままのホームに接続する



田畑を抜けて電車は走る、典型的なローカル路線



久下田駅 9:56 分着 単線で、一両編成のディーゼル電車



駅はモダンで、地域のたまり場として活用している。売店、カフェがある



久下田は真岡市に属し、二宮尊徳が荒廃したこの一帯の田畑を、見事に蘇らせた場所



駅前の尊徳銅像と共に、街路灯にもお馴染みのモニュメントが飾られている



「長栄寺」 嘉承 3 年(850)慈覚大師が天台宗の寺として創建。今は堂塔伽藍もなく、楼門だけが残された
かつては藤原秀郷も武運長久を祈った名刹であった



時の生き証人として手水鉢が一つ、ポツンと残された。後方は霊園となっている



道標に案内されて、田圃を横切り、鹿古墳群を訪ねる



いつもの様に田圃道を抜ける、日差しが強くなってきた



「鹿古墳群」 6世紀ごろ真岡地方に勢力を持った豪族の墓だと伝える、円墳と右前方後円墳



かつては、12基程があったと言うが、今は数基が残るだけ



道標代わりの大きな看板が有難い。専修寺へ 4km



たまらない蒸し暑さの中、舗装道を 4km歩くのはつらい、人も車も通らない



「専修寺」案内板通り 嘉禄2年(1226)親鸞聖人が創建した由緒あるお寺



御影堂、太子堂、如来堂、楼門等は、重要文化財指定



庫裡



「御影堂」 寛保3年(1743)の再建 上人の木造を安置 重文



涅槃像



鼓楼 重文



関東ふれあいの道は、広い境内の道を通り抜ける



今度訪ねる場所は、二宮尊徳の桜町陣屋。道標では 1.8km



陣屋の手前に蓮城院と言うお寺があり、境内に尊徳のお墓がある



墓域に入るとすぐ、尊徳の石造があるから、わかりやすい



二宮尊徳のお墓は、日光にもある



「報徳訓の碑」明治 18 年尊徳の門下生達が、功德を後世に残すために建立した



「桜町陣屋跡」(国指定史跡) 尊徳はこの地で、小田原から家族とともに 26 年間移り住んだ



陣屋跡の隣に平成12年開館した資料館。尊徳ゆかりの品々が展示されている



文政5年(1822)36歳の時、小田原藩主大久保忠真公より、知行地の真岡桜町一帯の復興を命じられる家族を引き連れてここに移住する



荒廃した田畑を復興させ、千石に満たない田畑を、3千石を超える豊かな耕地に変えた



尊徳が見ずら編み出した「至誠」、「勤労」、「分度」、「推譲」の教えは、天保の大飢饉にも生かされ、多くの村人達を救済したと云う



陣屋跡からゴールの真岡駅までは 5.8km² 時間ほどかかる。
暑さが厳しいのでショートカットして、寺内駅に向かう。駅へは 4kmだから歩けるだろう



寺内駅には 16:15 に着いた、疲れた



幸い 16:28 の電車が来た。今日の泊りは真岡駅前のホテルだから安心

[参考タイム] 久下田駅(10:00)→長栄寺(10:20)→専修寺(13:20-13:25 途中昼)→
桜町陣屋(14:05-14:45)→寺内駅(16:13-16:28)→真岡駅(16:40)ビジネスホテル泊
この項完

「関東ふれあいの道(栃木)⑩雲流れる桜花のみち」に続く